

2024 年度総代会レポート

文責

大阪大学人間科学部 3 学年 市川虹羽

1. 2024 年度総代会の報告

2024 年 5 月 25 日（土）、今年度の総代会が開催されました。総代数は 101 名（本人出席 30 名、書面出席 69 名、代理出席 2 名）が総代会に実出席されました。各議案の提案・審議の後、すべての議案は可決されました。今年度の総代会では、去年に引き続き分科会と懇親会を実施したのに加え、学生委員会と協力し天津麻婆丼に関する参加型イベントを開催し、和気藹々とした雰囲気での会が進みました。私が総代会に参加するのは去年に続き 2 回目になりました。前回からアップデートされた総代会の様子について、今年度もレポートしていきたいと思います。

2. 総代会ってどんなイベントなの？

総代会は福利会館 3 階食堂で開催されました。普段、学生たちが談笑している場から一転、当日は総代や理事の方々が議案を静聴していました。多くの方が出席する中、司会の声かけによって総代会がスタートしました。司会・議長・書記を担当したのは、すべて阪大生。出席者も半分以上が学生で構成されており、予想以上に学生が多かったことに驚きました。総代会では、まず大阪大学生協から提案される予算や活動方針についての報告と学生委員会から前年度の活動報告が発表されました。議案と聞くと最初は堅苦しい印象がありましたが、報告をする方がとてもわかりやすく話してくださいました。私たち学生委員会は議案書ダイジェストという、総代会での議案の内容をわかりやすくまとめた冊子を作成しました。当日参加していた方にこの冊子を配布させていただきましたが、特に学生の方はこの冊子を片手に話を聞いている方も多く見受けられました。この議案書ダイジェストが少しでもみなさんの理解の助けになっていると嬉しいです。その後の質疑応答では、箕面キャンパスの学生から質問がありました。内容は箕面キャンパスの食堂の営業時間を延長してほしいという要望について。回答はすぐに対応は難しいが以前から生協でも問題意識があり、ぜひ解決したいとのことでした。学生視点の要望に対しても、真摯に応えられる職員さんの姿が印象的でした。そして分科会や懇親会に移ります。

3. 学生委員会と生協のコラボ企画

分科会が始まると、今年度はまず美味しそうな天津麻婆丼らしきものが登場しました。これは学生委員会と生協でコラボして、天津麻婆丼の新味コンテストの決選投票を行うためです。事前に阪大生から募集していた新味を、生協で試作し、それを実際に総代会で提供していただきました。試食したのは「天津あんかけ酢豚風」「天津塩麻婆」「天津トマト」の 3 つ。どれも天津の新しい可能性を感じさせられました。総代会参加者全員で試食・投票を行った結果、優勝したのは「天津あんかけ酢豚風」！これは実際に 6 月末、生協店舗で提供される予定なので、味を確かめに足を運んではいかがでしょうか。このように学生の意見が身近に反映されるのを感じられる企画で、総代会中トップの盛り上がりでした。

4. 最後に

その後、生協職員さんと学生・教員が意見交流する分科会や懇親会を経て、参加者全員の距離感が縮まったのを感じられました。今年度は去年と比べ、対面出席者数が約2倍になったりコラボイベントがあったりと、さらに活気のある総代会になったと思います。これからも年々、学生と生協との架け橋となる機会としてパワーアップされていく総代会が楽しみになりました。以上 2024 年度総代会レポートとさせていただきます。

